

## Alcoutim

### について



写真: Odiana

### アルコーティン

アルコーティン（Alcoutim）の起源はおそらく、グアディアナ川（Rio Guadiana）の干満が生じる場所に位置していることに関連しているものと思われます。金属やその他の商品を運ぶ船舶は、グアディアナ川が航海できる状態になるまで何時間もの間、ここで待つ必要がありました。そのため、彼らを支え、守るための建物が必要とされ、今もその痕跡が残っています。

何世紀にもわたって町を囲んでいた塁壁は失われ、近代的な建物がいくつか建てられているにもかかわらず、アルコーティンの傾斜の急な細い通りには今もなお、アルガルヴェ地方の丘の町に特有の静かな雰囲気が残っています。

数分歩くと、築後何百年もたつ簡素な家々やメゼリコルディア教会（Igreja da Misericórdia）の高い白壁が見えてきます。地味で小さなサント・アントニオ教会（Ermida de Santo António）やアルコーティン（Alcoutim）伯爵の旧邸宅が建っている川岸を訪れることを忘れないでください。その後は川岸の屋外のカフェに座ってしばらく休憩し、冷たい飲み物を飲み、小さなマリーナや対岸のスペイン領の町に帰港する漁船やヨットを眺めてください。